

Rotary International District 2510

2023-24 ローターイ財団・地区補助金管理セミナー

『ポリオプラスについて』

ポリオ根絶コーディネーター(第一地域) 高柳育行

「ポリオ・プラス」について

- ・全世界の子どもにポリオの予防接種を行う目的で、国際ロータリー創立80周年にあたる1985年に設ける
- ・公衆衛生イニシアチブの民間部門による最初で最大の国際協調支援で、募金目標1億2000万ドルで開始したが、2億4700万ドルの寄付が集まる
- ・プラスは、ハシカ(麻疹)、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5のワクチンを示していた
- ・現在「プラス」は、ポリオ根絶活動を通じて築かれたインフラ、ファンドレイジング、アドボカシーの手法が、ほかの感染症対策にも活用されていることを示す

「ポリオプラス」プログラム創設きっかけ

- ・世界のポリオ患者は、1979年頃約50万人、その45%がフィリピンに集中
- ・フィリピンの**サビノ・サントス元ガバナー**が要請し、1979年、5年計画でフィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を開始
- ・ロータリーは保健、飢餓追放及び人間尊重(3-H)プログラムの第1号として取り組む



<https://www.endpolio.org/>

強力な団体が協力 = 世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)



1988年 世界保健総会で国際ローターリーが働きかけ、設立

- **国際ローターリー(RI)**「アドボカシー担当」ポリオの認識向上、募金、政府などへの働きかけ
- **世界保健機関(WHO)**「戦略担当」GPEIの運営と管理
- **国連児童基金(UNICEF)**「予防接種担当」ワクチンの購入と分配
- **米国疾病対策センター(CDC)**「ウイルス対策担当」ウイルスの種類と感染源を特定

- その後、2009年**ビル&メリンダ・ゲイツ財団(BMGF)**が加わり、5のコア団体へ「リソース担当」で民間団体として最も多額を寄付
- 2019年**ワクチンと予防接種のための世界同盟(GAVI)**が加わり、6のコア団体へ

「ポリオプラス」 US \$ 1億5000万の使途(2020-2021)



啓蒙活動 US \$ 3600万

ワクチン接種 US\$5850万

ワクチン費用 US \$ 2870万

ウイルスの発見・監視 US \$ 2100万



野生型ポリオウイルス症例



	1988	2021	2022
国	125	3	3
症例数	350000	6	27

Data in WHO HQ as of 27 Sep. 2022

循環型ワクチン由来ポリオウイルス症例



	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
cVDPV1	3	0	27	12	35	16	19
cVDPV2	2	96	71	366	1081	682	339
cVDPV3	0	0	7	0	0	0	1

Data in WHO HQ as of 27 Sep. 2022

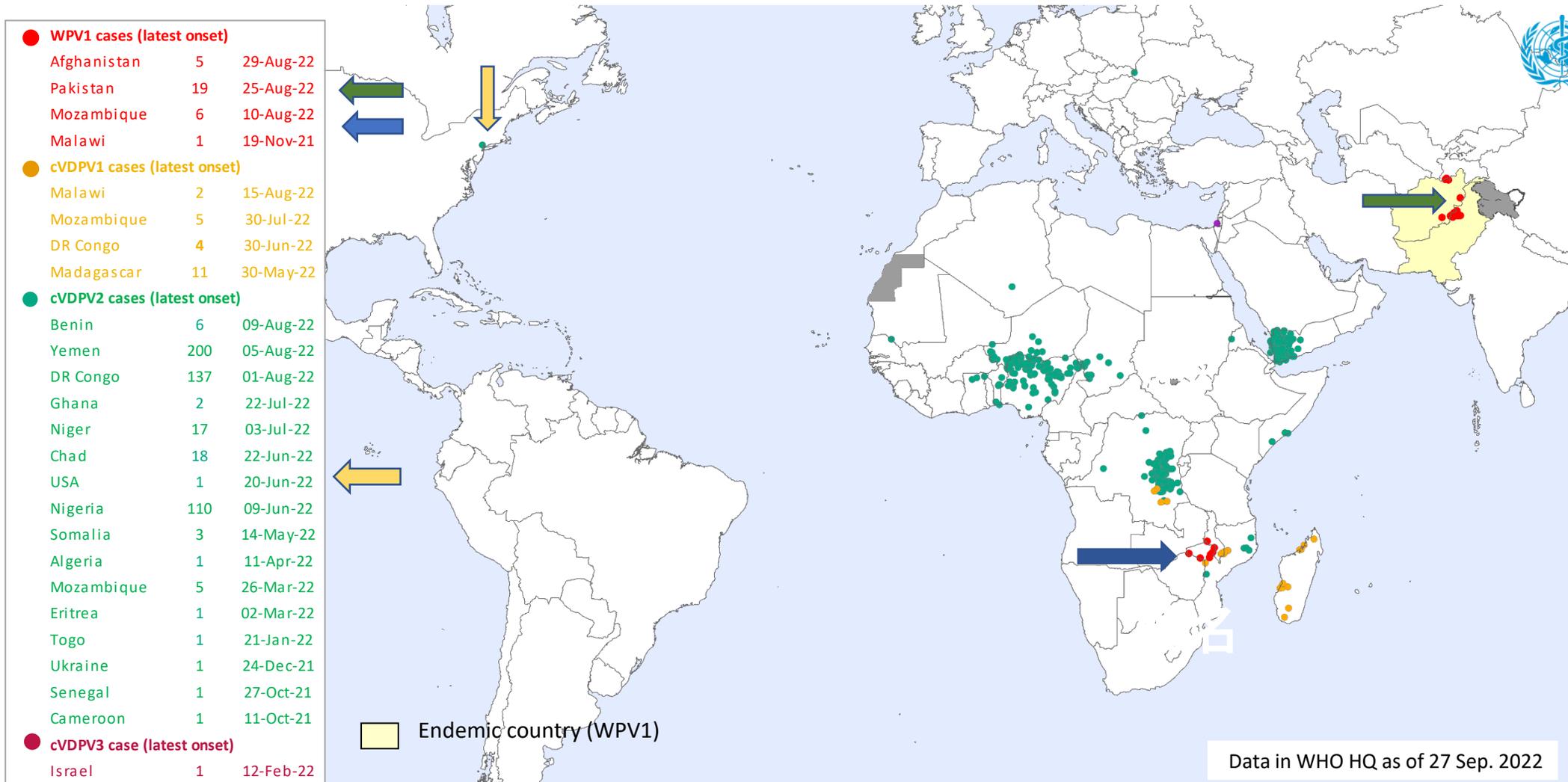
なぜゼロが重要なのか

- マラウイにおけるWPV1に関するGPEI声明(2/17)
- イエメン北部州におけるcVDPVの発生に関するGPEIの声明(3/3)
- イスラエルで確認されたワクチン由来ポリオウイルス3型(3/17)
- **モザンビークWPV1検出**に関するGPEIステートメント(5/18)
- **ロンドンの環境サンプル**からワクチン由来のポリオウイルス2型(VDPV2)検出(6/22)
- **米国におけるポリオの検出報告**に関する声明を更新(7/29)



<https://polioeradication.org/>

根絶しない限り脅威



NY州、ポリオに警戒強める 緊急事態宣言を発令

【ニューヨーク=弓真名】米東部ニューヨーク州のホークル知事は9日、ポリオウイルスに関する緊急事態宣言を発令した。ポリオワクチンを投与できる医療従事者を医師や看護師から助産師、薬剤師などにも広げ、迅速に予防接種の普及率を上げるねらいだ。まずは10月9日までの1カ月間の期間に限定して実施する。

米国ではワクチンによって根絶したと考えられていたポリオウイルスだが、2022年に入り、ニューヨーク州内のワクチン未接種者から感染例が出た。ニューヨーク市中心部など住民の99%以上が接種を終えている例もあるが、郊外を中心にワクチンが行き渡っていない地域も多い。州全体の2歳以下のポリオワクチン接種率は79%にとどまっている。

8月にかけてはニューヨーク州内の下水からもポリオウイルスがみつかった。州は感染拡大へ警戒感を強めており、ワクチンの普及を急いでいる。



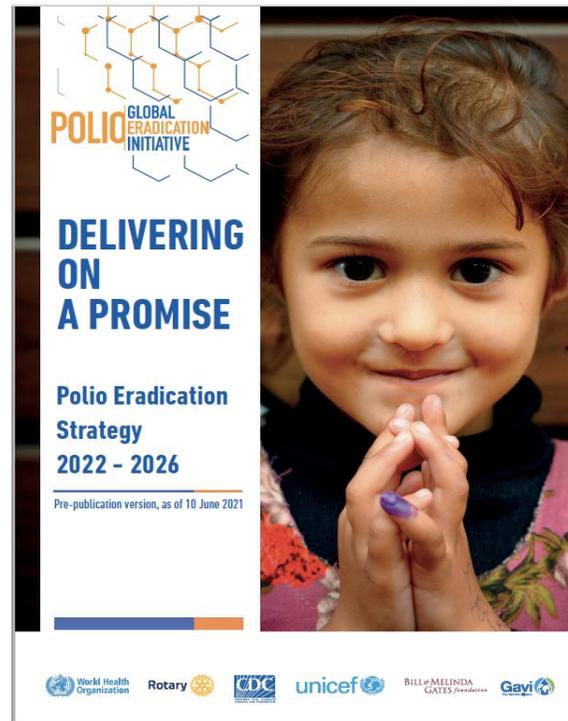
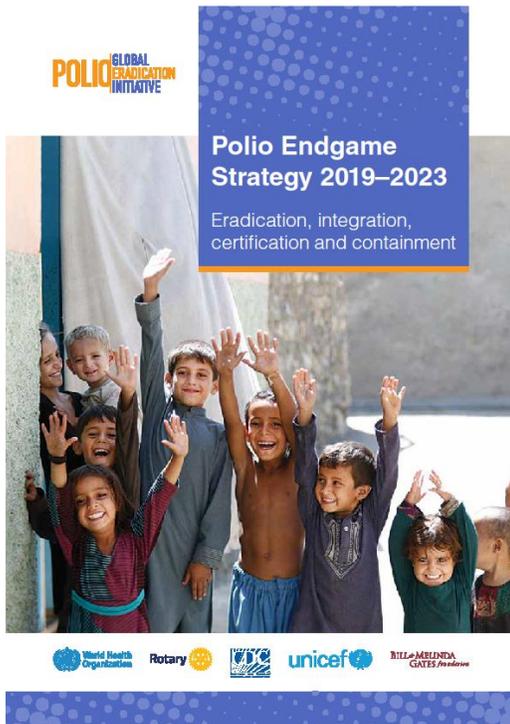
2022年9月10日 6:33 日本経済新聞

米国、欧州における最近のポリオ検出に関するロータリーの声明

(2022/08/18)

- ・ポリオウイルスが存在する限り、あらゆる場所において脅威である
- ・**予防接種の重要性を伝えるとともに、ワクチン接種を促進**する
- ・野生型ポリオウイルスの症例がゼロに近づくにつれ、あらゆる形態のウイルスを追跡することが重要
- ・**高いワクチン接種率と堅牢な疾病サーベイランスを維持**する
- ・ロータリーは根絶のために1億5000万米ドルを拠出していて、これまで**26億米ドル以上**を費やしてきた
- ・年間4億人以上の子どもたちに予防接種を行っていて、**ロータリーをはじめとするGPEIの努力**がなければ、2000万人以上の人々がポリオによる麻痺になっていたことが推測される
- ・新しい経口ポリオワクチン**nOPV2の展開**で、ワクチン由来ポリオウイルスの発生を効果的に阻止する

GPEIのポリオ根絶戦略 2022-2026年



ゴール1: アフガニスタンとパキスタンで全てのポリオウイルスの伝播を永久に阻止する

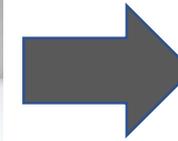
ゴール2: cVDPV2の伝播を阻止しポリオフリー地域での再流行を防ぐ

なぜ多くの資金が必要なのか？

2022-2026年の戦略資金 48億米ドル

今後5年間

- ・年間3億7000万人の子どもたちにワクチン接種
- ・50カ国でポリオやその他の病気に対する世界的なサーベイランス活動



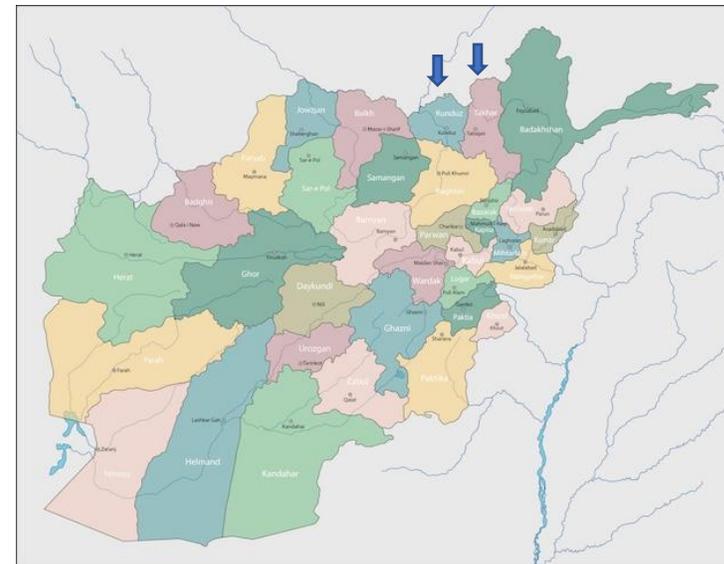
ポリオの流行を制圧することで、今世紀中に推定331億米ドルを節約

アフガニスタンでポリオ接種従事者8人殺害

アフガニスタン北部のクンドゥズ州とタハル州で2月24日、**ポリオウイルスのワクチン接種活動に携わるスタッフらが武装した何者かに相次いで銃撃**され、少なくとも計8人が死亡したと地元メディアが報じた。

事件を受け国連は24日、「国際人道法の侵害だ。接種活動の従事者へのあらゆる攻撃を非難する」と声明を出した。

(共同) 産経新聞(2022/2/25 12:34)



アフガニスタン、ポリオ監視システムの過去最大の見直し

- ・「これは**WHOアフガニスタンのポリオチーム**による並外れた成果でした」(WHOアフガニスタン代表の Luo Dapeng博士)
- ・過去18カ月間にアフガニスタンで野生型ポリオウイルスによって麻痺した子どもの数の急激な減少が、現場の現実を正確に反映しているのかどうかを確かめるため
- ・「**サーベイランス・システム**には、起こりうるポリオウイルスの循環を検出する強さと能力があることを示すことが重要です」(WHOアフガニスタンのポリオ・チームリーダー、イルファン・エラヒ・アクバル博士)

(2022/09/20)



課題 社会情勢が不安定



課題 自然・環境問題

- ・2022年6月以降に発生した**モンスーン**は、大規模な洪水を引き起こし、パキスタン史上最悪レベル
- ・**国土の3分の1が水没**したとも報じられ、9月15日までに1,500人以上が亡くなり全国民の約15%に当たる3,300万人以上が被災するなど※1、壊滅的
- ・南部シンド州・バロチスタン州、北部カイバル・パクトウンクワ州の**人的被害**や**インフラ被害**が大きく、推定100億ドル(1兆4,000億円)以上の被害※2

※1 パキスタン国家災害管理庁 (NDMA) : NDMA Monsoon 2022 Daily Situation Report No 94

※2 CNN : <https://www.cnn.co.jp/world/35192773.html>



課題 ワクチンへの不信



グローバル・ポリオ・ラボ・ネットワーク(GPLN)

- ・1990年にWHOと各国政府によって設立
- ・急性弛緩性麻痺(AFP)の原因としてのポリオウイルスを、他の病気によって引き起こされるAFPと区別すること
- ・92カ国の146のWHO認定ポリオ研究所で構成
- ・野生型ポリオウイルスかワクチン由来のポリオウイルスをスクリーニング
- ・ゲノム解析することで、どのように広がっているかを監視
- ・AFP症例からの220,000以上の便サンプルと、年間8,000以上の下水サンプルを処理



<https://polioeradication.org/>

2021-22年度ポリオプラスへの参加率（寄付しているクラブの割合）

第一地域	2500	2510	2520	2530	2540	2550	2560	2570	2770
	53.0%	63.8%	44.2%	79.4%	39.0%	50.0%	89.1%	94.0%	100%
	2790	2800	2820	2830	2840				
	70.7%	22.4%	100%	70.0%	100%				
第二地域	2580	2590	2600	2610	2620	2630	2750	2760	2780
	94.3%	96.2%	94.4%	39.1%	72.4%	60.3%	85.4%	98.8%	95.4%
第三地域	2640	2650	2660	2670	2680	2690	2700	2710	2720
	45.5%	89.6%	100%	41.9%	52.1%	87.7%	58.3%	93.1%	36.5%
	2730	2740							平均
	50.0%	80.4%							72.5%

DDFの20%以上をポリオプラスに寄贈いただいた地区(2021-2022年度)

Region 1	2510	2520	2770	2800	(2500	2550	2570)
Region 2	2580	2600	2610	(2630	2750)		
Region 3	2670	2680	2690	2710	2730	2740	(2640 2660)

()内は2020-2021年度に寄贈いただいた地区

ポリオプラスへの寄付と寄贈の結果

	2020-21	2021-22
Cash	\$33.3million	\$32.3million
DDF	\$7.6million	\$7.0million
WF and Other	\$9.1million	\$3.8million
Total	\$50.0million	\$43.1million

極度の貧困撲滅のために24億ドルのコミットメント



- ・グローバル・シチズン・フェスティバルは毎年恒例の音楽祭
- ・ファンは無料チケットを獲得するために**極度の貧困撲滅に向けて行動を起こす**
- ・国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長は、1985年
以来のポリオ撲滅活動の一環として、ポリオ撲滅推進計画
(Global Polio Eradication Initiative)を通じて、**ポリオ撲滅活動
に1億5,000万ドル、3年間拠出し、GPEIの根絶戦略2022-26を
支援すると表明**
- ・「すべての人が保護されるまで、誰も保護されない」とジョーンズ
会長はAP通信のインタビューで語る
- ・「今、**ニューヨークで非常事態宣言**が発令され、ワクチン由来
のポリオがここに入ったことで、それは自宅の近くにあります」

ポリオ根絶に向けて行動しましょう！

- ・ポリオプラスへの寄付・寄贈
- ・世界ポリオデーでのイベント

(2022年度 フォトコンテストに応募・
ポータルサイトに投稿)

- ・予防接種キャンペーンに参加
- ・政府に支援の働きかけ

Rotary ZONE 1A,2&3

END POLIO NOW

IMAGINE ROTARY

世界ポリオデー イベント フォトコンテスト

世界ポリオデーイベントの写真は全国のロータリークラブから募集します。イベントの規模は大きさまじますが、イベント中のポリオ根絶を訴求する1シーンを切り取って写真に残すことで、地区やクラブの活動の記録とします。
写真を見た人に感動を与える写真を残し、後々までポリオ根絶の願いを伝える事が目的です。

■写真のテーマ
あなたのポリオ根絶の想いを全国のロータリアン、また、写真を見る人達にイベントのストーリーを伝えるショットやシーンを撮影して下さい。また、あなたが写真を撮影した日時、場所、撮影意図を伝えて下さい。

■審査
第51回ロータリー研究会(11/19~22 神戸ポートピアホテルで開催)会場にて展示、審査します。

■表彰
RI会長賞、RI理事表彰他
ロータリー研究会会場にて発表・表彰し、ポータルサイトに掲載します。またロータリーの友誌への掲載を検討中です。

■応募め切り
2022年10月31日(締め切り当日の23時59分まで)

■応募方法その他注意事項
以下のポリオデーに関するポータルサイトに応募フォーム、注意事項が記載されています。
<https://www.endpoliorotary.club/photocontest/>

Rotary PEOPLE IN ACTION